

夏まき10月中下旬どりダイコンの品種比較

野口 貴・蛭木朋子・海保富士男・徳田真帆
(園芸技術科)

【要約】10月中下旬に収穫する夏まきダイコンでは、根の大きさや形状の揃い、肌質、内部の白さなどから「夏の守182, YR夏ゆたか」が優れ、「夏つかさ」も良好である。

【目的】

ダイコンは市場や直売向けとして生産され、東京都の主要品目となっている。そこで、10月中下旬に収穫する夏まき栽培で品種比較を行い、普及指導上の資料とする。

【方法】

「夏岬」以下22品種を2022年8月23日に白黒マルチ9227(千鳥)を敷設した幅70cmのベッド(通路70cm)に1穴3粒で播種した。播種後から9月27日まで寒冷紗でトンネル被覆し、9月5日に1穴1本に間引いた。肥料は窒素、リン酸、カリを10aあたり分量でそれぞれ7, 10, 10kgを全量基肥として施用した。収穫は1区6株2反復で10月24日に行った。

【成果の概要】

1. 播種後の平均気温、降雨量はいずれも平年並みで、生育に異常は認められなかった。9月18~24日にまとまった降雨があり、その後下位葉が黄化した。症状は軽微であり、品種間差は確認できなかった。収穫時の生育状況は、収穫適期か、やや遅めであった。
2. 収穫すると、根部に割れ(裂根)、こぶ症、曲がり、横縞症などの生理障害がみられた(図1, 2)。このうち、裂根がみられた①「夏岬」(以下、表1に記した品種番号で記載)、③、⑬、⑰、⑲の5品種とそれ以外に、こぶ症、曲がり、横縞症のいずれかの程度が20を超えた⑥、⑬、⑳の3品種は、その後の調査から外した。
3. 根重、根長、根径をみると、⑤、⑧、⑱で変動係数(CV)が小さく、揃っていた(表1)。一方、⑭、⑮、⑳はいずれかの項目のCV値が大きく、不揃いであった。葉重、葉長、葉数、抽根長には品種間差があったが、抽根長は全体的に長かった。
4. 根の状態を観察により相対的に評価すると、大きさや形状は、②、④、⑤、⑧、⑫、⑱、㉑で揃っていた(表2)。首の汚れはどの品種でも見られ、特に⑱は目立った。尻詰まりは②で特に良く、⑤、⑭、⑱、㉑以外は比較的詰まっていた。毛穴は⑤、⑦、⑫、㉑で浅く、⑱で深かった。毛穴の並びは⑩、⑪、⑳、㉑で揃っていた。側根は⑫、⑱で少なく、②、④で多かった。肌表面は⑫で平滑でキメが細かく優れ、⑤も良好であった。
5. 内部には、④、⑨、⑩で空洞がみられ、そのほかの品種は無いが、軽微で目立たなかった(表2)。肉色は、⑧で特に白く、④、⑩、⑫も比較的白かった。
6. 草勢は、⑨、⑪、⑫でやや弱く、コンパクトであった(表2)
7. 以上から、欠点がなく、揃いや内部の白さから⑧「夏の守182」、揃いや肌質から⑫「YR夏ゆたか」が優れ、⑤「夏つかさ」も肌の状態や大きさの揃いが良く良好である。

【残された課題・成果の活用・留意点】

本成果の適用範囲は、8月20日前後に播種する夏まき栽培とする。

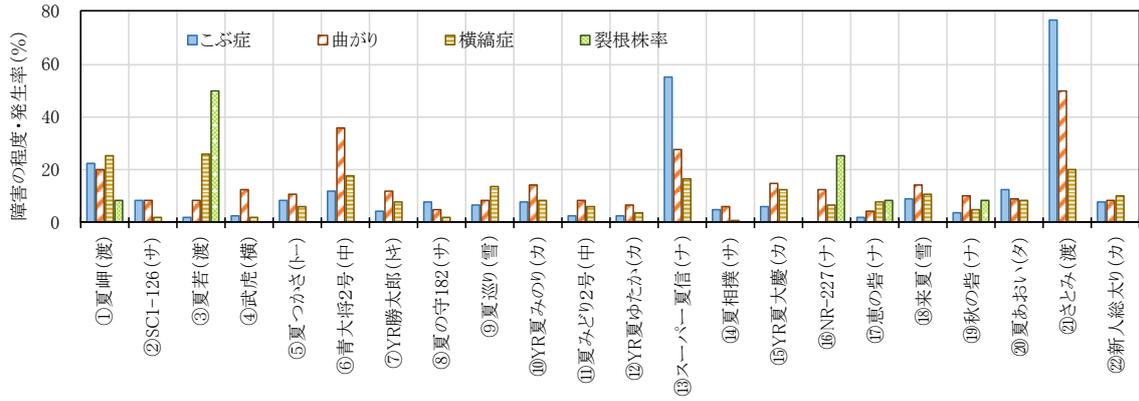


図1 ダイコン22品種のこぶ症, 曲がり, 横縞症の障害の発生程度および裂根の発生株率

こぶ症, 曲がり症状の程度は図2に基づく指数により次式で算出 程度=Σ((指数×該当数)/(5×調査数)×100). 横縞症の指数は5(多)~1(微), 0(なし)とし同様の式で算出. 種苗メーカー; 渡(渡辺農事), サ(サカタのタネ), 横(横浜植木), トー(トーホク), 中(中原採種場), トキ(トキタ種苗), 雪(雪印種苗), カ(カネコ種苗), ナ(ナント種苗), タ(タキイ種苗). 品種の記載は根重の大きさ順とした.

表1 ダイコン14品種の主要形質の特性

品種	根重		根長		根径 ^a		葉重 (g)	葉長 (cm)	葉数 (枚)	抽根長 (cm)
	(g)	CV	(cm)	CV	(cm)	CV				
②	1,409	10.9	37.7	7.5	8.0	6.4	437	49	29	20
④	1,404	14.1	42.9	10.7	7.4	4.0	467	49	38	21
⑤	1,395	11.7	43.0	5.1	7.7	4.6	415	51	27	22
⑦	1,330	17.5	39.3	9.7	7.4	6.3	401	50	39	23
⑧	1,328	13.7	40.1	6.8	7.4	4.1	421	49	31	18
⑨	1,325	13.5	38.3	11.8	8.0	5.4	328	44	35	22
⑩	1,285	17.3	43.0	6.0	7.2	6.7	383	43	42	23
⑪	1,278	16.3	41.5	10.7	7.2	7.3	277	42	27	21
⑫	1,278	17.2	37.0	7.9	7.8	6.1	318	47	27	20
⑭	1,249	23.4	38.9	9.0	7.4	8.3	400	47	32	18
⑮	1,229	24.6	38.2	9.1	7.4	10.9	342	48	37	23
⑱	1,206	10.6	39.2	5.4	7.4	3.0	395	50	35	25
⑳	1,174	16.2	35.0	13.5	7.8	7.2	324	42	34	20
㉒	1,155	8.1	38.9	7.4	7.5	5.0	360	47	30	21

a) 根の中央部を測定



図2 こぶ症, 曲がりの指数 5(甚)~1(微), 0(無)

表2 ダイコン14品種の観察による相対的評価

品種	形状・大きさの揃い ^a	外観品質						内部品質			地上部の特徴			総合評価 ^d
		青首	首の汚れ	尻詰まり ^a	毛穴深淺	毛穴並び ^b	側根の多少	表面のキメ ^a	空洞 ^b	白さ ^a	食味のイメージ ^c	草勢	草姿	
②	○	淡	中	◎	やや深	やや多	—	—	—	無味	やや強	やや開	中	
④	○	淡	中	○	やや深	多	+	○	—	さっぱり	強	やや開	中	
⑤	○	中	少	—	浅	やや少	○	—	—	水っぽい	中	中	淡	○
⑦	—	中	中	○	浅	中	±	—	—	無難	やや強	やや立	やや濃	
⑧	○	中	中	○	中	中	±	◎	—	無難	強	中	やや淡	◎
⑨	—	淡	中	○	やや深	中	+	—	—	辛い	やや弱	中	中	
⑩	—	中	中	○	中	中	+	○	—	無味	やや強	やや立	中	
⑪	—	やや淡	中	○	中	やや少	±	—	—	硬い	やや弱	中	中	
⑫	○	中	少	○	浅	少	◎	±	○	やや甘い	やや弱	やや開	中	◎
⑭	—	淡	少	—	中	やや少	—	—	—	硬い	強	中	中	
⑮	—	やや淡	中	○	やや深	中	±	—	—	やや辛い	やや強	やや立	中	
⑱	○	やや濃	やや多	—	深	少	±	—	—	無味	強	やや立	中	
⑳	—	やや淡	中	○	浅	中	—	—	—	やや甘い	中	中	やや淡	
㉒	○	中	中	—	中	中	±	—	—	やや辛い	やや強	やや立	やや淡	

a) ◎: 優れる, ○: 良好. b) +: 有り, ±: 軽微, —: 無し. c) 中央部横断切片を生食した際の調査員2名の主観. d) 図1および表1~2から総合的に判断